

我が母校における激動のこの7年間の変遷

2007年4月に経営体制をより強固にするために聖トマス・アクィナス大学国際協議会に加盟し、5月に大学名を「英知大学」から「聖トマス大学」に変更をし、なんとか難局を打破出来るかと思ったのも束の間2009年6月には人間文化共生学部の2010年度以降の学生募集停止を発表し、この2014年3月の新学部申請の取り下げまで何度、我々同窓生を失望させたことか！？ これ等の出来事を改めてここに分かりやすく整理をする意味で、時系列に追って見てみました。

| | | |
|-------|-----|--|
| 2007年 | 4月 | 聖トマス・アクィナス大学国際協議会(ICUSTA)に加盟 |
| | 5月 | 大学名称を「英知大学」から「聖トマス大学」へ変更 |
| 2009年 | 6月 | 文科省に学生募集停止を文科省に報告(保護者・学生・同窓会に説明会を開く) |
| 2010年 | 4月 | 文学部神学科を廃止 |
| | 4月 | 日本グリーンケア研究所を上智大学に移管 |
| | 11月 | ローリエイト・エデュケーション・アジア・リミテッドが法人を引き継ぎ、新理事が就任 |
| 2011年 | 3月 | 校地・校舎の変更・売却 |
| | 5月 | 国際教養学部及び健康科学部の設置認可を申請 聖トマス大学から日本国際大学に大学名称変更も併せて文科省に申請 |
| | 8月 | 日本国際大学の名でオープンキャンパスを開催 |
| | 8月 | 申請時の書類不備の為、設置許可の申請を取り下げる(2年間の申請不可) |
| | 8月 | 申請時の書類不備の為、設置許可の申請を取り下げる(2年間の申請不可) |
| 2012年 | 3月 | 文学部(人間学科、英語英文学科、国際文化、言語学科を廃止) |
| 2013年 | 1月 | 高校生対象にローリエイト英語step up(スカラシッププログラム)を実施 |
| | 3月 | カトリック大阪大司教区の通達により、カトリックミッション校を取り下げる |
| | 3月 | 人間文化共生学部の人間文化学科を廃止 |
| | 3月 | 聖トマス・アクィナス大学国際協議会(ICUSTA)から脱会 |
| | 4月 | 一般市民対象の公開講座を開講 |
| | 5月 | 校地の変更・売却 |
| | 6月 | ランゲージサポートセンター(LSC)開設 |
| 2014年 | 3月 | 大井学長辞職 |
| | 4月 | 新学部申請断念 |

※学校法人英知学院創立50周年記念誌の沿革を参照

思い出のキャンパスが・・・!!!

| 開発行為許可標識 | | | |
|--------------|-------------------------|------------------|-------------|
| 工事の期間 | 平成26年7月8日から平成27年3月30日まで | | |
| 工事の場所の所在及び地番 | 尼崎市若王寺2丁目166番80、166番81 | | |
| 施行面積 | 5999平方メートル | | |
| 工事の名称 | (仮称)若王寺2丁目宅地造成工事 | | |
| 事業主の住所及び氏名 | 明石市大久保町大塚497番地1 | TEL 078-937-3338 | 代表取締役 横野 修三 |
| 工事施工者の住所及び氏名 | 尼崎市南塚口町7丁目29-11 | TEL 06-6426-6971 | 代表取締役 山本 佳生 |
| 設計者氏名 | 株式会社 サプレッチ | 工事現場 | 大山・大日 J V |



一回目の売却で、昔のテニスコート、寮(古くはシスター館、その後留学生寮)は住宅街になった。



並木もなくなり、寂しい通路。奥に体育館が見えます。

残り少ないグラウンドは、近隣の住民の方々のゲートボール場等に利用していただいています。学生がいらないのでは…



二回目の売却で、グラウンドが半減！住宅街になります。

